

10月からの値上げについて注目



食品4634品目が値上がり
 食用油や菓子をはじめとした品目が値上がりする

酒税が改定
 ビールは値下がりする一方、「第3のビール」は値上がりする

「ゆうパック」値上げ
 日本郵便は、ゆうパックの料金を平均で約1割引き上げる

インボイス(適格請求書)制度導入
 取引先に正確な消費税率や税額を伝えるため、登録を受けた売り手が、税率ごとに区分した消費税額などを記載してインボイスを発行

ステマ規制開始
 広告であることを隠して宣伝する「ステルスマーケティング」が行政処分の対象に

最低賃金を引き上げ
 都道府県ごとに改定し、39~47円引き上げる。全国加盟平均が43円増の1004円に

「年収の壁」に支援策
 「106万円の壁」では、従業員の収入増や保険料負担を軽減する手当を出す企業に助成金

コロナ治療薬に一部自己負担
 全額公費負担だった新型コロナウイルスの治療薬が、上限3千~9千円の自己負担に

生活保護費1人1千円加算
 物価高対策として、生活保護費が世帯1人あたり月1千円加算される

値上げ続く

10月は食品4634品目・コロナ治療薬は一部自己負担

モノやサービスの値上げの波は10月以降も続き、暮らしの様々な場面に影響しそうだ。事業者は仕入れにかかった消費税の控除にインボイス(適格請求書)が必要になる。

食料品をはじめとした値上げは秋以降も続く。帝國データバンクが主な食品メーカー119社を調べたところ、10月に値上げされる食品は4634品目(そのほか)

モノやサービスの値上げの波は10月以降も続き、暮らしの様々な場面に影響しそうだ。事業者は仕入れにかかった消費税の控除にインボイス(適格請求書)が必要になる。

食料品をはじめとした値上げは秋以降も続く。帝國データバンクが主な食品メーカー119社を調べたところ、10月に値上げされる食品は4634品目(そのほか)

10月1日から酒税が改定され、ビールは350ミリリットル換算の税額で約7円下がる一方、第3のビール

は約9円上がり、割安感が失われる。

原油やガソリン価格の高止まりで、電気代やガス代はもろろん、物流費やプラスチック製の包装資材も値上がりしている。円安も進み、輸入品の値段も上がる。

一方、物価高を受けて、最低賃金は10月から全国平均で1004円と、初めて1千円台になる。都道府県

ごとに改定され、47~39円引き上げられる。生活保護費は10月から世帯1人あたり月1千円加算される。

医療では、新型コロナウイルスの治療で患者負担が増す。全額を公費でまかなくてきたコロナ治療薬は、患者の窓口負担の割合に応じて、上限3千~9千円を負担する。入院医療費も、高額療養費制度の自己負担限度額から月最大2万円補助してきたが、10月以降は1万円に減らす。

(上) 医薬品部、神宮司薬師